

超広帯域で低損失なコア選択スイッチの実証に成功

来たるべき6Gモバイル通信時代を支える光通信ネットワークの大容量化と経済化を可能に

創造工学部の神野正彦教授と小玉崇宏講師の研究チームは、次世代の空間多重光ファイバに対応可能な光ネットワーク「空間チャンネルネットワーク」と、その主要構成デバイスである「コア選択スイッチ」を世界に先駆けて提案。今回、同研究チームはコア選択スイッチの低損失化と超広波長帯域化に世界で初めて成功しました。

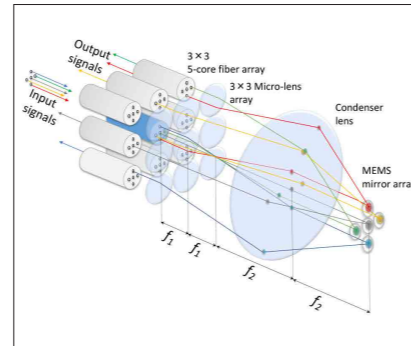
研究成果のポイント

- 空間多重技術に基づく次世代光スイッチ

「コア選択スイッチ」の低損失化 (2.5 dB以下) と超広波長帯域化 (130nm) に世界で初めて成功しました。

●本成果は、光通信工学分野で最も権威ある国際会議OFC2021にて、最高得点論文 (Top scored paper) に選出されました。

●本技術を用いることで、来たるべき6Gモバイル通信時代を支える超大容量光通信ネットワークを、経済的かつ高性能に実現することが可能になると期待されます。

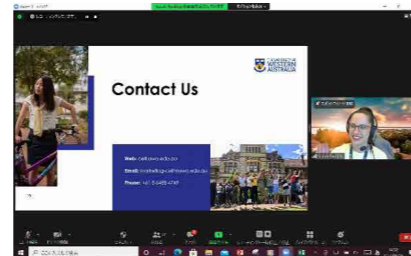


コア選択スイッチの構成と動作原理

香川大学&大学生協合同留学フェア「オンライン留学で実力をつける2021夏!」を開催 5/26

コロナ禍でも経験できるオンライン留学に特化した留学プログラムを紹介。インターナショナルオフィスからは、海外大学へのオンライン留学プログラムを、香川大学生協同組合からは、生協が企画するオンライン留学プログラムの紹介がありました。今回紹介されたプログラムにはオーストラリアを対象にしたものが多いこともあり、オーストラリアの地理やマナーについてのクイズも実施。また協定校である、西オーストラリア大学 (UWA)

英語教育センターの英語プログラム担当者がオーストラリアのパスから参加され、英語研修プログラムやアクティビティについて説明しました。さらに、UWAオンライン英語研修プログラムに参加した2名の学生が、参加したきっかけやプログラムの内容、体験談について語り、これから留学を考えている学生に向けて「コロナ禍でもオンラインでチャレンジできる機会は整っているのでは是非ともチャレンジしてほしい」「オンライン留学は



西オーストラリア大学担当者によるプログラム紹介

とても楽しかったので、皆さんも興味があったら参加してみてください」とメッセージを送りました。

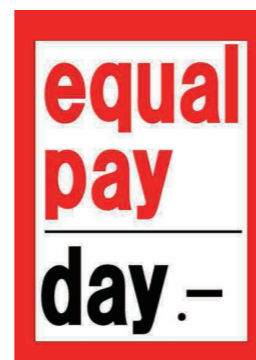
Let's think together

equal pay dayを知っていますか?
=女性が男性と同じ賃金を手にする日
2021年は5月6日です

平均賃金が男性より低い女性は、男性の年取分を手にするには、1年より何日も余計に働く必要があります。女性が余計に働いてようやく同額を手にする日、それが「イコール・ペイ・デー」です。日本では、男性が2020年の1年間で得た賃金と同額を女性が手にするためには1年では足りず、2021年の5月6日まで4か月と6日余計に働かなくてははいけません。

日本は男女賃金格差大国。OECDワースト2位 (36位韓国・35位日本)

OECD2019 データ <https://data.oecd.org/> 資料出典 : 日本BPW連合会 <http://www.bpw-japan.jp>



新チームになって覚悟を決めた部員



試合開始前の気合を入れる円陣



ドリブルで相手を翻弄し、かわしていくときの真剣なまなざし



チームにとって望みの先制点を取った時の喜びは大きい



フリーキックを蹴るときの入念な打ち合わせ



この左足から放たれるパスやシュートが幾度となく得点を生んだ

香川大学 サッカー部

香川大学サッカー部は部員数25人と決して多くはありませんが、四国大学サッカーリーグや天皇杯にも参加し本格的な活動を行っています。部員の顔ぶれとしては、経験者もいれば初心者もいて、真剣に勝利を目指す場面と部員間の交流のためサッカー本来の楽しさを味わう場面とメリハリをつけて、全員がひとつになって精力的に活動しています。昨年はコロナウイルスの影響で十分な活動はできませんでしたが、四国大学サッカーリーグ2部で優勝するなど大きな自信に繋がりました。練習試合などで県外に遠征することもあり、その際には仲間同士で現地の名物を食べ歩いたりして、交流や親交を深める機会もあ

ります。移動中の車では先輩後輩の垣根を超え、楽しい話題で盛り上がりやす。また、サッカー以外での魅力も感じています。それは「繋がり」と「経験」です。昨年、勝利すれば1部昇格が決まるという重要な試合がありました。その際、卒業した先輩方が応援に駆けつけてくださりました。卒業後も後輩たちの姿を応援して下さるその思いは「横」だけでなく「縦」の繋がりも強く表していると思います。サッカーだけでなく、人と人との繋がりがや様々な経験ができるサッカー部は近い将来、社会に飛び出していく私たちにとって何ものにも代えがたい経験ができていていると思います。

活動場所・経済学部グラウンド
活動時間・毎週水・木・金・土・日
部員数・25人
Twitter・@kufc_v
Instagram・@kagawa.univ_soccer
Facebook・@kagawa.univ_soccer
連絡先・kagawa.univ.fc@gmail.com



サークル歴2年
教育学部2年
三好 真真



プロジェクトには全学部から一人以上が参加し、学部1年生から大学院2年生まで、幅広い学年で構成されています。

プロジェクトは、「四国88カ所巡り」にちなみ「Kagawa University 88 Points of Interest (香川大学88カ所の魅力)」として大学の魅力を発信しています。香川大学は4つのキャンパスに分かれていることから、学生や教職員は所属以外の学部について詳細に知る機会が少ない傾向にあります。また、現在は、新型コロナウイルス感染症の感染防止により、各キャンパスの往来も減少しています。そこで、それぞれのキャンパスの学生と留学生で構成されたGlobal Café Student Committee (以下、GCSC) が、香川大学の魅力を学生目線で発信し、学生や教職員が香川大学をより詳しく、親しみを感じてもらえるよう、プロジェクトを展開しています。紹介している魅力の中には、香川大学の歴史や国際交流に関する内容も盛り込んでおり、地域や海外との結びつきを大切に、これらの魅力を日本語・英語で発信しています。

プロジェクトを通じ、学生である私たち自身が改めて香川大学の魅力に気付く機会となりました。特に1年生は通学の機会が十分に

い中で参加したプロジェクトであったため、当初は戸惑うことも多かったのですが、1年生ならではの新鮮な視点から多くの魅力に気付いてくれました。GCSCは学部1年生から大学院2年生まで、幅広い学年で構成されていることもあり、話し合いの中では、メンバーそれぞれの意見をとくに大切にしています。このようなメンバー間の雰囲気も、新たな魅力の発見には重要であると学びました。

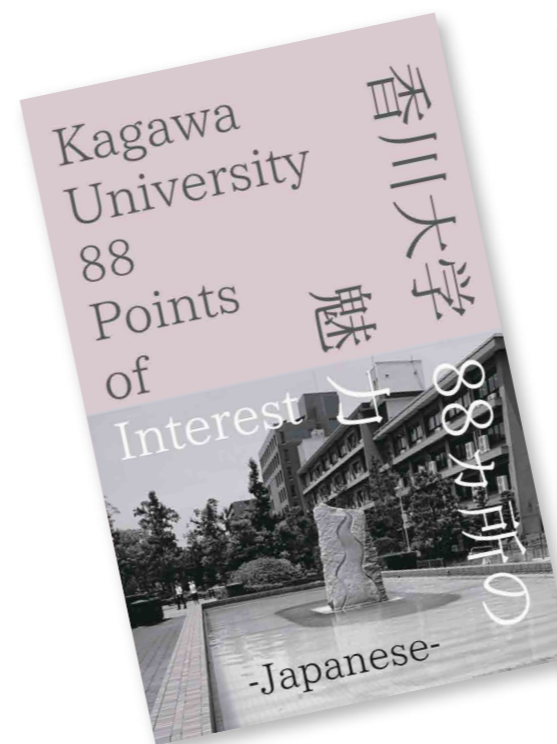
豊かな学びや研究には、自分の眼で見て、心で感じて、思考するということが大切ではないかと思います。しかし、現在は新型コロナウイルス感染症が流行していることもあり、以前のような国内外の移動を伴う学習・研究活動は制限せざるを得ない状況にあります。この状況を乗り越えようとするとき、自分の思考の組み立て方を変えることが何かのヒントになるのではないかと考えています。パンフレットの見開きに記載した、「見えている世界の一步外に出てみる」「専門分野や国を超えてつながること」「知らないことを知る」というフレーズにはそのような思

いが込められています。そして、今までは無かった角度として、学生である私たちの目線で捉えた香川大学の魅力というものを大切にしています。魅力的なことは、自分自身を含めてすぐそばにあるということが多くの人に気付くきっかけになる、プロジェクトにはそのような価値があると考えています。

まずは、在学生や地域の方々、海外交流先のみなさんに香川大学の88個の魅力を知っていただき、みなさんにとっての魅力と誇りになればいいな、と思っています。そして、さまざまなバックグラウンドと価値観が混ざり合う香川大学とともに学ぶことを通じて、個人と全体に相互作用が生まれ、新たなアイデンティティの形成すなわち香川大学の新たな魅力の醸成に繋がることを目指しています。

工学研究科2年 村林真衣
医学系研究科2年 野口朋恵

プロジェクト概要



—香川大学の魅力を学生目線で—

- ▶ 見えている世界の一步外に出てみる
- ▶ 専門分野や国を超えてつながること
- ▶ 知らないことを知る

「おもしろい」はすぐそばにある

香川大学88カ所の魅力(Kagawa University 88 Points of Interest)は、2020年、GCSC(Global Café Student Committee)から発足した学生プロジェクトです。GCSCは、学部生・留学生・大学院生で構成され、それぞれの所属学部や学年を超えて繋がり、活動を展開しています。私たちが発見した、香川大学88カ所の魅力が、多くの方のもとに届くことを願っています。

<p>医学部</p>	<p>農学部</p>
<p>創造工学部</p>	<p>教育学部/法学部/経済学部</p>

パンフレットは日本語版と英語版の2種類を作成 (掲載は日本語版)

香川大学88カ所の魅力について詳しくはこちらをご覧ください

教育学部
法学部
経済学部



創造工学部



医学部



農学部



スポーツ用義足の研究を行なっています
村林真衣



子どもに関する研究をしています
野口朋恵